

1 班 班山行

ピンクに染まる袈裟丸山

山行日 2022年5月15日(日)

参加者 L: A原、SL: N宮、K地、O田、W田(e)、I谷、Y口、Y田(記)

コースタイム

松戸 5:30 車発=折場登山口発 8:30—賽ノ河原 10:00—小丸山 11:05/11:25—避難小屋 11:40—
前袈裟丸山 12:45/13:00—避難小屋 13:55—小丸山 14:20—賽ノ河原 15:15—折場登山口 16:00

天気予報が良くなくて行けるかどうかヤキモキしていると、予定を一日遅らせて決行する、との相原リーダーからのうれしい報せが届く。袈裟丸山の登山口はわたらせ渓谷鉄道の沢入(ソウリ)駅から歩くと数時間かかる交通不便な山。私も行くのは初めてでとても楽しみにしていた。車2台に分乗してカーブの多いガタガタ道を折場登山口に向かう。今はアカヤシオの最盛期とあって駐車場にはもうすでにたくさんの車が止まっていた。

最初は穏やかな歩きやすい道が続く。



途中左側が広々と開けた笹原からは袈裟丸山塊をバックに谷間に新緑が広がり、「わあ~きれい！」と声上がる。水場に着き、サブリーダーの二宮さんの案内で「秘密の基地」まで足を延ばす。ここはアカヤシオやミツバツツジの灌木が密生している秘密の場所とのこと。しかし残念ながらちらほらと咲いているのみで、散ってしまったピンクの花で道がうめられていた。昨日の雨と風で散ってしまったのか、。二宮さんは「もう花は全部

終わってしまったのでは…」と心配になったとの事。

ツツジ平まで来ると目の前にあでやかなピンクの花、花、花。ヤッター！ミツバツツジより可憐で色も透き通っていて思わず見とれてしまう。

黒い岩がゴロゴロ転がっている賽ノ河原を過ぎ、展望台で一休み。登りと下りを繰り返して先に進むと小丸山の山頂に着く。ここは四方が満開のアカヤシオの花で囲まれた、まさにピンクの花園だった。360度の展望も素晴らしかった。景色を楽しみながら昼食をとる。

一度下って登り返しトイレのある避難小屋に着く。何とんでもこの先からの約40分の登りが厳しかった！段差のある大きな岩をロープや枝を頼りに登ったり、木の根の滑りやすい細い急登の道を慎重に登り、やっと頂上にたどり着く。途中コメツガやシャクナゲの木に混じって何本も桜の木があり、まだ白い小



さな花がびっしり咲いていて励まされた。

前袈裟丸山の山頂からの展望も小丸山に負けず劣らず素晴らしかった。近くには赤城山、皇海山、浅間山、まだ雪化粧の日光白根山や谷川連峰なども見え、時間を忘れてみんなで見入った。

この先の後袈裟丸山へは登山道の崩壊のため通行止めになっていた。休憩時間の立つのは早い。名残を惜しみつつもと来た道を引き返す。下山しながらもう一度アカヤシオの花をめで、新緑の瑞々しいカラマツ林やシラカバの木立を眺めながら折場登山口に戻る。

トップに行く相原リーダーがみんなの足並みに合わせてゆっくり歩いてくださったおかげで、充分お花や景色を楽しみながら歩くことができた。リーダーと往復の長い道中を安全運転してくださった二宮さん、岡田さん、どうもありがとうございました。

